

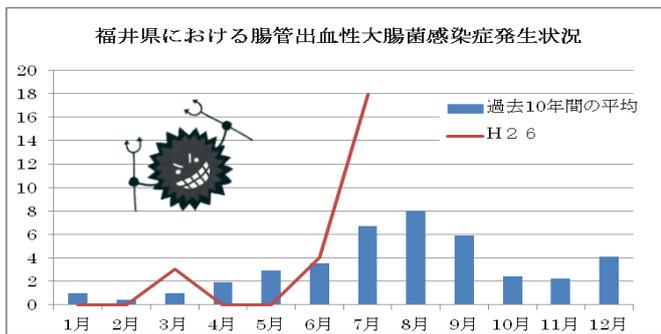


県内で腸管出血性大腸菌感染症多発！



今年、腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26等）の発生が昨年の同時期（8月1日）に比べて件数としては8倍、人数としては10倍以上となっています。

家庭内ではもちろん、施設でも感染を予防するために、下記の点について、ご注意ください。



<<感染を予防するためには・・・>>

- ①調理や食事の前、トイレ後には十分に手洗いをする。
- ②調理器具は流水でこまめに洗い、熱湯をかけておく。
- ③生野菜は流水でよく洗い、加熱する食品は十分に加熱する。
(中心部まで75℃で1分以上)
- ④肉を焼く場合は生肉用の箸と、焼き上がった肉を扱う箸とを使い分けする。



セアカゴケグモにご注意ください。

県内で初めて特定外来生物の毒グモ発見されました。このクモには攻撃性はありませんが、雌だけが毒を持ち、咬まれると針で刺されたような痛みがあります。また、発汗や吐き気を起こし、重症化することもあります。



このクモを発見した場合は、市販の殺虫剤を噴射するか、踏みつぶし、駆除してください。咬まれた場合は、患部を水で洗って清潔にし医療機関に相談してください。

福井県 HP「セアカゴケグモにご注意ください」で検索

危険ドラッグに改名

いわゆる「脱法ドラッグ」の乱用者による重大な犯罪や、交通死亡事故の事案が後を絶たず、社会問題となっております。覚せい剤や大麻など同様の、またはそれ以上の健康被害を及ぼすおそれがあるにもかかわらず、脱法ドラッグという呼称のため、その違法性、危険性についてあたかも合法であるような誤解をあたえることから、厚生労働省は、警察庁とともに、これらが危険な薬物であるという認識を広めるべく、一般公募のうえ、先月22日に、新名称を「危険ドラッグ」としました。

福井県 HP「熱中症にご注意ください」で検索

◆◆熱中症にご注意ください◆◆



暑い日々が続く、当県では昨年同時期と比較すると熱中症による救急搬送人数が増えています。熱中症は炎天下だけでなく、屋内や夜間でもおこります。こまめに水分（スポーツドリンク等）を補給するなどしてください。

福井県感染症発生動向調査速報

(第27週 H26年6月30日～ 第32週 H26年8月3日)

- 2類:結核 13名(1名)
- 3類:腸管出血性大腸菌感染症 17名(1名)
- 4類:レジオネラ症 4名(0名)
- 5類:後天性免疫不全症候群 1名(0名)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1名(0名)、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1名(0名)、侵襲性肺炎球菌感染症 2名(0名)

* ()内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター
地域保健課 吉田・宮下
TEL: 0770-52-1300 FAX: 0770-52-1058
メール: w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
※ご意見ご感想をお待ちしています。